

泌尿器科 臨床研修カリキュラム

研修責任者 秋山 佳之

1. 研修科の特色

- 診断から治療まで、一連の経過を追うことができる。診断における多々ある検査や、手技の専門性・多様性は大きな魅力である。
- 高齢者を対象とした疾患が多く、今後の高齢化社会において重要性が高い。
- 前立腺癌・腎癌は患者数が増えていて、治療ニーズがますます増えている。
- 尿路の機能はQoLに直結するため、改善させることにより大変感謝される。
- 現在、保険収載されるロボット支援手術は多々ある。しかし、「ロボット加算」のある術式は前立腺全摘と腎部分切除のみである。その観点から、ロボット支援手術の中心的な科であるともいえる。そのほか、腹腔鏡手術を多数行なっている。

2. 研修目標

一般目標 GIO

泌尿器、男性生殖器の解剖を理解し、泌尿器科的処置と手術における基本的手技を習得する。

行動目標 SBO

- 1 病歴を聴取し、診療録に記載できる。
- 2 理学所見に基づき、必須の検査を指示できる。
- 3 患者と良好なコミュニケーションをとることができる。
- 4 チーム医療の一員としての自覚を持ち、積極的に診療にかかわることができる。
- 5 尿路の超音波検査、膀胱鏡検査を施行し、所見を述べることができる。
- 6 尿路男性性器癌の特徴を理解し、病期に応じた治療方針をたてることができる。
- 7 縫合や糸結びなどの基本的手技ができる。

3. 研修方略

(研修期間が4週の場合)

- 1 (SB01, 2, 3, 4, 6) 入院患者の診療を担当する。
- 2 (SB01, 4, 6) カンファレンスで担当患者の治療方針を発表する。
- 3 (SB02, 5) 外来患者の超音波検査を行う。
- 4 (SB02, 5) 外来患者の膀胱鏡検査を行う。
- 5 (SB04, 7) 入院患者の手術に参加する。

(Advanced (4週以上) の研修の場合追加される項目)

- 1 日本泌尿器科学会信州地方会で症例報告を行う。
- 2 前立腺生検を指導医の指導のもとに行う。
- 3 陰嚢水腫、包茎などの小手術を指導医の指導のもとに行う。
- 4 ESWLを指導医の指導のもとに行う。
- 5 経尿道的手術を指導医の指導のもとに行う。

4. 週間予定

	月	火	水	木	金
午前	・グループ回診 ・外来処置	・総回診 ・手術	・グループ回診 ・外来処置	・グループ回診 ・外来処置	・総回診 ・手術
午後	・膀胱鏡	・手術 ・前立腺生検	・膀胱鏡	・尿流動態検査 ・尿管ステント 留置/交換	・手術 ・前立腺生検
17:15 以降	・カンファレン ス (17:00- 19:00) ・抄読会 ・医局会		・グループ回診	・グループ回診 ・17:30-18:00 研修医クルーズ	

5. 評価

研修期間の評価

4 週以上の研修が不足なく行われていること。また、研修医は研修において経験した項目について随時 PG-EPOC に記録する必要がある。

研修中の評価

(形成的評価)

指導グループ内の指導医・上級医がその都度行う。適宜、看護師からの評価も行う。

研修後の評価

研修医は、当該研修科の研修期間の最終日まで、PG-EPOC の該当項目について自己評価を行う。

自己評価が終了次第、当該科の指導医、指導者（看護師長）にその旨を報告し、評価を依頼する。

研修中に経験した疾病、症状についても経験とすることができた場合、経験したことが分かる病歴要約を作成・提出し、速やかに指導医へ評価を依頼すること。

(形成的評価)

当該研修科の指導医、指導者は、研修医評価票に記載された評価を用い、フィードバックを行う。

・研修医評価票 I に基づく評価

指導医・指導者（看護師長）が、A-1 から A-4 の項目について評価し、印象に残るエピソードを記入する。

・研修医評価票 II (1-9) に基づく評価

指導医・指導者（看護師長）が、1~9 の項目について評価する。

・研修医評価表 III に基づく評価

指導医、指導者（看護師長）が、C-1 から C-4 の項目について評価し、印象に残るエピソードを記入する。

臨床研修評価表 I～III を基に、責任指導医は臨床研修の目標の達成度判定票を作成し、当該研修期間における目標の達成状況を判定する。

(研修科の総括的評価)

当該研修科を修了とするに不十分であると判断された場合、卒後臨床研修センター長と協議し、再履修とする。

※当科の臨床研修指導医は卒後臨床研修センターWeb サイトにて確認してください。

信州大学医学部 泌尿器科学教室

■住所：〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 ■電話：0263-37-2661(直通) ■FAX：0263-37-3082

■E-mail：urology@shinshu-u.ac.jp

■U R L：http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/urology/index.htm